ぶんくら

文化

貴重な民芸運動 デジタルで記録

カナダ人映像作家 40年間活動

浅川兄弟関連、県内風景も

カナダ人映像作家のマーティ・グロスさん(69)が、1930～70年代の日本や朝鮮半島での民芸運動に関する貴重な映像フィルムを修復し、デジタル化する活動を進めている。国内外の関係者から証言を聞き取り、内容の確認作業も行っていて、7月下旬には北杜市の浅川伯教・巧兄弟資料館や富士北麓地域などを訪れた。

映像は民芸運動に携わった英国人陶芸家バーナード・リーチ(1887～1979年)が撮影したものが中心。デジタル処理された映像に関係者のナレーションなどを加え、上映やアーカイブ化が計画されている。グロスさんは1975年にリーチからフィルムを託され、約40年かけてデジタル化作業を進めてきた。

リーチが民芸運動創始者の柳宗悦とともに34、35年に日本各地や朝鮮半島を巡った際に撮影した16ミリフィルム「日本旅行・朝鮮旅行」には、浅川巧が設立に携わった韓国ソウルの朝鮮民族美術館の映像があった。

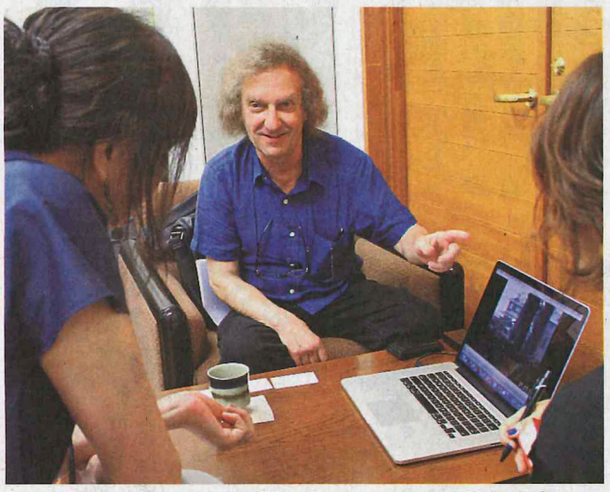
甲府・昇仙峡など県内の映像も残され、かやぶき屋根の民家は「兜造り」の特徴から、郡内地域で撮影されたと今回確認された。

グロスさんは今秋に再び県内を訪れ、同資料館で映像に挿入する伯教のスケッチなどを撮影する予定。グロスさんは「リーチの映像はハンディーカメラが日本で使われていない時代のもの。日本の地方の自然や生活場面を記録した映像としては最古ではないか」とみる。

リーチの映像には小鹿田焼(大分県)や益子焼(栃木県)など陶磁器産地のほか、沖縄県の工房や東京・八王子の人形芝居など幅広い文化や制作風景が収められている。現在では作り方が分かっていないものも含まれていて、映像が文化復活の手掛かりになることも期待される。

デジタルアーカイブはあと2、3年で完成する見込み。グロスさんは「リーチが撮影した映像は外国人の目で捉えた当時の日本が記録されている。デジタル化によって映像活用の可能性が広がる」と話している。

〈植松利仁〉



バーナード・リーチが残したフィルムの映像の内容について取材するマーティ・グロスさん
＝北杜市の浅川伯教・巧兄弟資料館

バーナード・リーチによって1934年に郡内地域で撮影されたとみられるかやぶき屋根の民家（映像の一部）
©Marty Gross Film Productions Inc.

バーナード・リーチによって1934年に撮影された山梨県内とみられる映像の一部©Marty Gross Film Productions Inc.

都築さん(昭和)青春小説が受賞

佐々木喜善賞

民話集「遠野物語」の舞台である岩手県遠野市に関する作品を表彰する佐々木喜善賞（遠野文化研究センター主催）に、昭和町の小説家都築隆広さんらによる青春ファンタジー小説「長者屋敷の寝られぬ座敷」が選ばれた。

受賞作は、遠野市に伝わる伝承と幼女失踪事件の謎をからめた物語。漫画家の十凪高志さん（長野県）が原案とイラストを担当し、都築さんが小説にまとめた。「遠野の不思議さが見事に活写され、読者を引き込む面白さは群を抜いている」と評価された。

「遠野物語」にまつわる場所を訪れたり、座敷わらしがいるとされる建物に宿泊したりしているという都築さん。「遠野物語」が民話研究家佐々木喜善が語り伝えた伝承を基に編まれていることを踏まえ「佐々木喜善の名が付いた賞を受けることは、何事にも変えられない喜び」と話した。

「自分らしさ」テーマ 藤島秀憲さんが講演

来月、甲府でみぎわ大会

みぎわ短歌会（河野小百合代表）は9月2、3の両日、甲府・常磐ホテルで第32回みぎわ大会を開く。

2日午後1時20分からの講演会は一般参加も可能。講師は「心の花」所属の歌人藤島秀憲さんが務め、「『自分らしさ』とは何か？」と題して講演する。藤島さんは1960年埼玉県生まれ。歌集「二丁目通信」で現代歌人協会賞、歌集「すずめ」で寺山修司短歌賞を受賞している。

講演の受講料は千円。問い合わせはみぎわ短歌会（内山美智子さん）、電話0553（44）2038。